



AUTO PIVOT

オートピボット

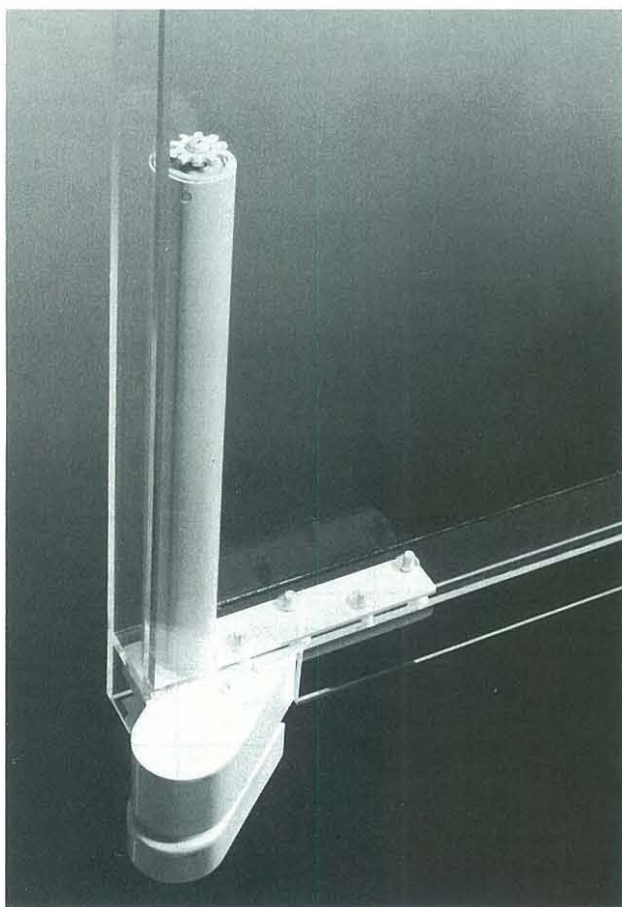
オート
ピボット

ド ア 開 閉 様 式	型 式	ストップ装置	頁
縦枠埋込型	MWAP-9NDBS	ストップ付	704
	MWAP-9NDB	ストップなし	701
沓摺差込型	MWAP-9NCS	ストップ付	705
	MWAP-9NC	ストップなし	702
沓摺差込型 (下枠両面)	MWAP-9NCTS	ストップ付	705
	MWAP-9NCT	ストップなし	702
縦枠取付型	MWAP-9NDS	ストップ付	706
	MWAP-9ND	ストップなし	703
空ヒンジ			707
ド ア 開 閉 様 式	型式(空ヒンジタイプ)	ストップ装置	頁
縦枠埋込型	MWP-9NDBS	ストップ付	704・707
	MWP-9NDB	ストップなし	701・707
沓摺差込型	MWP-9NCS	ストップ付	705・707
	MWP-9NC	ストップなし	702・707
沓摺差込型 (下枠両面)	MWP-9NCTS	ストップ付	705・707
	MWP-9NCT	ストップなし	702・707
縦枠取付型	MWP-9NDS	ストップ付	706・707
	MWP-9ND	ストップなし	703・707

AUTO PIVOT MWAP-9N オートピボット

あくまでシンプルに、あくまでスムーズに。

オート
ピボット



■シンプル設計です。

ドア面に見えるのは、ピボットヒンジのステンレスカバーだけ。又、自閉装置は全てドアに内蔵しております。

■取付け簡単なピボット方式。

特殊な切欠きは不要！取付けらくらく。ドアは、プリセット方式による簡単な吊り込み式です。

■精度が高く耐久性にすぐれています。

実績を誇るオートドアヒンジとピボットヒンジが見事に一体化。全く新しいピボットのかたちです。

■速度調節が簡単です。

すぐれた油圧機構が動きをよりスムーズにし、フロア、枠、扉の形状に対応できる部品も豊富に揃っています。

■ストップ装置付もあります。

安定した停止力を発揮するストップ装置付、必要に応じて、ストップ機能の切替えもワンタッチ。

■規格

●最大開扉角度

持出吊180°

右または左開



●取付方法

ピボット方式

●ドア種類

アルミドア・スチールドア

ステンレスドア

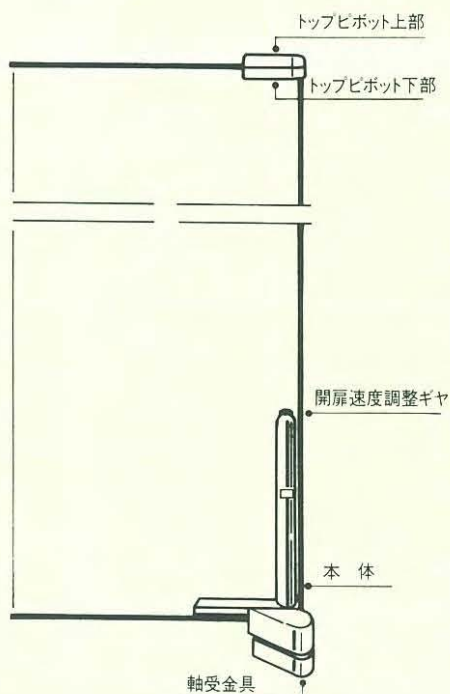
●適用ドア(幅×高×厚)

(約)900×2,100×40mm

●重量

70kg

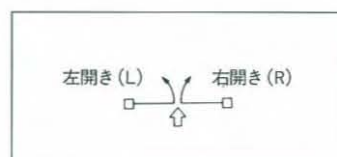
●開扉角度180°(片側開き)



MWAP-9NDB 縦枠埋込型

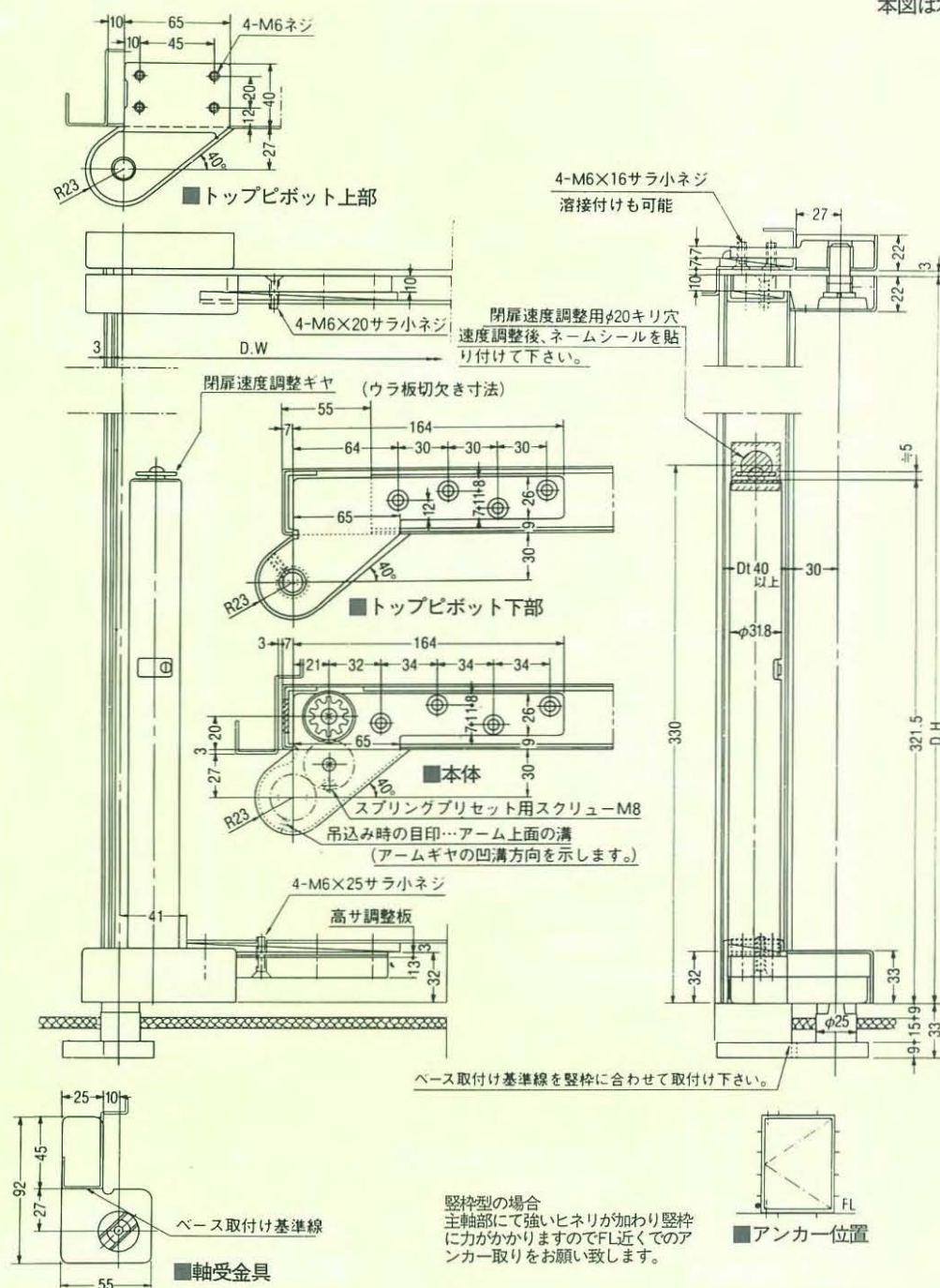
■持出吊/180°一方開

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NDB	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	なし



MWAP-9NDB

本図は右開きを示す



■持出吊/180°一方開

沓摺型の場合
主軸部にて強いヒネリが加わり沓摺
に力がかかりますのでベース近くで
のアンカー取りをお願い致します。

MWAP-9ND 竖杵取付型

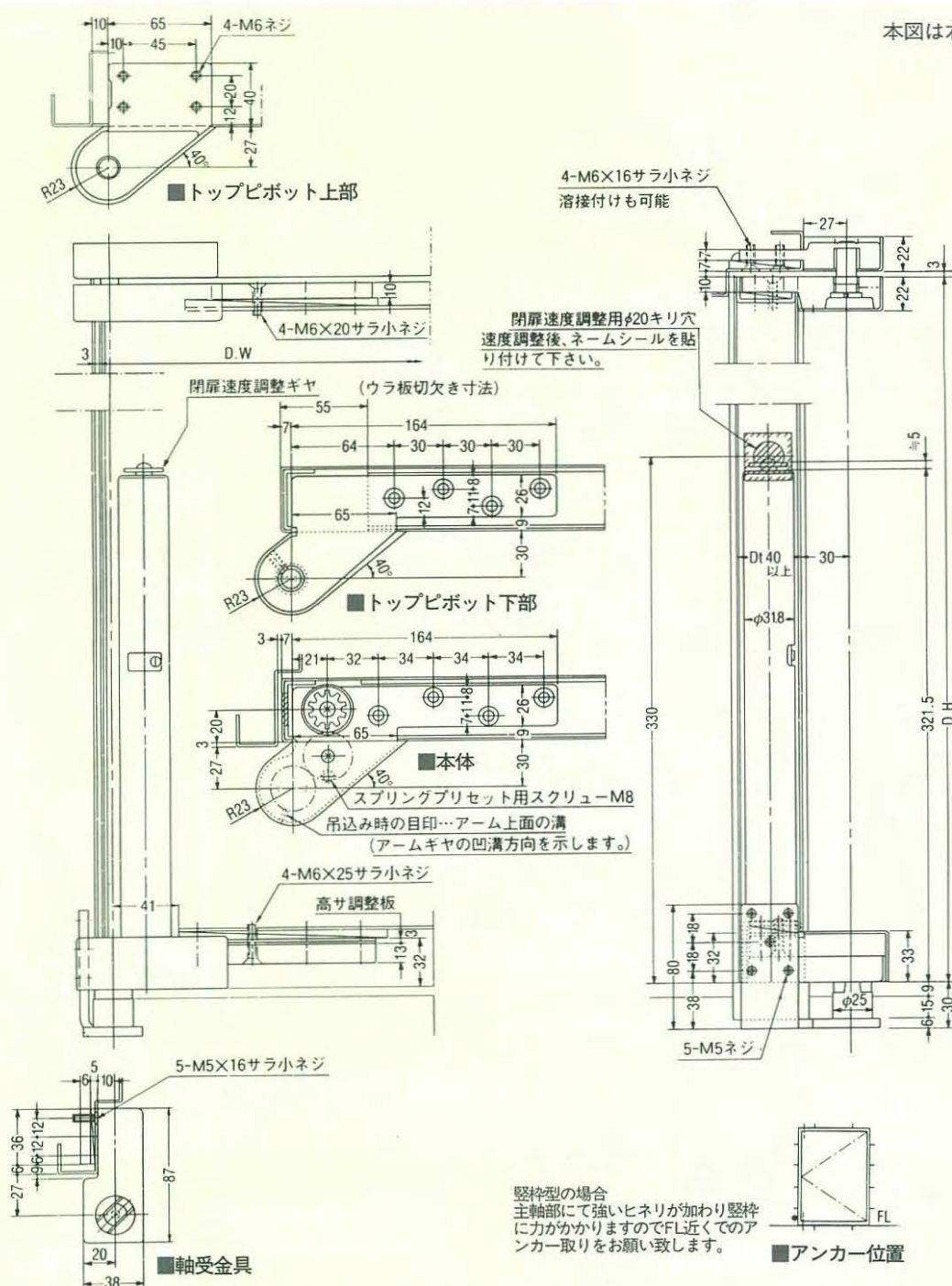
■持出吊/180°一方開

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9ND	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	なし

左開き(L) 右開き(R)

MWAP-9ND

本図は右開きを示す



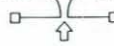
MWAP-9NDBS 縦枠埋込型

■持出吊/180°一方開

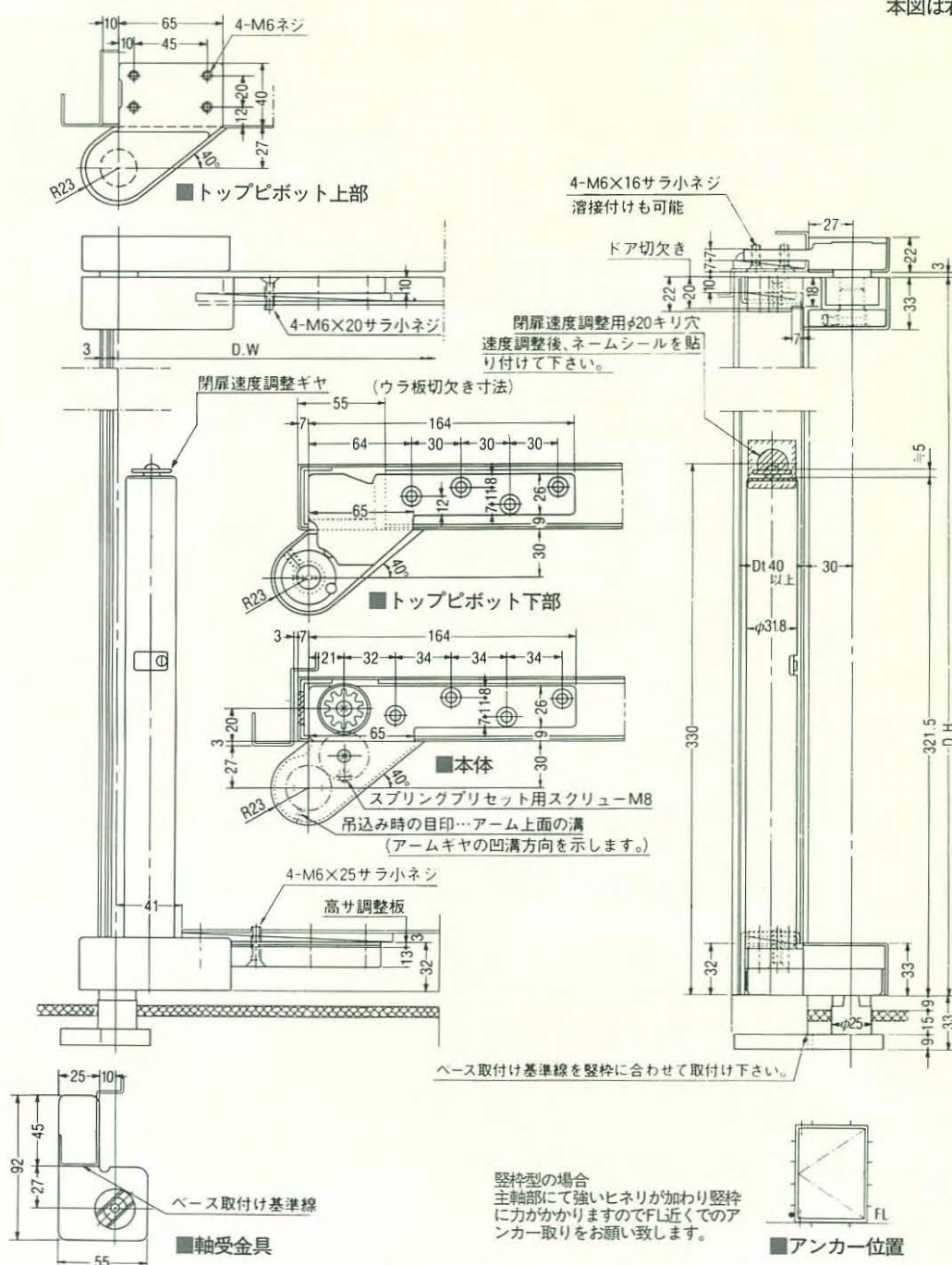
MWAP-9NDBS

型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NDBS	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	付

左開き(L) 右開き(R)



本図は右開きを示す



MWAP-9NCS/MWAP-9NCTS 沓摺差込型

■持出吊/180°一方開

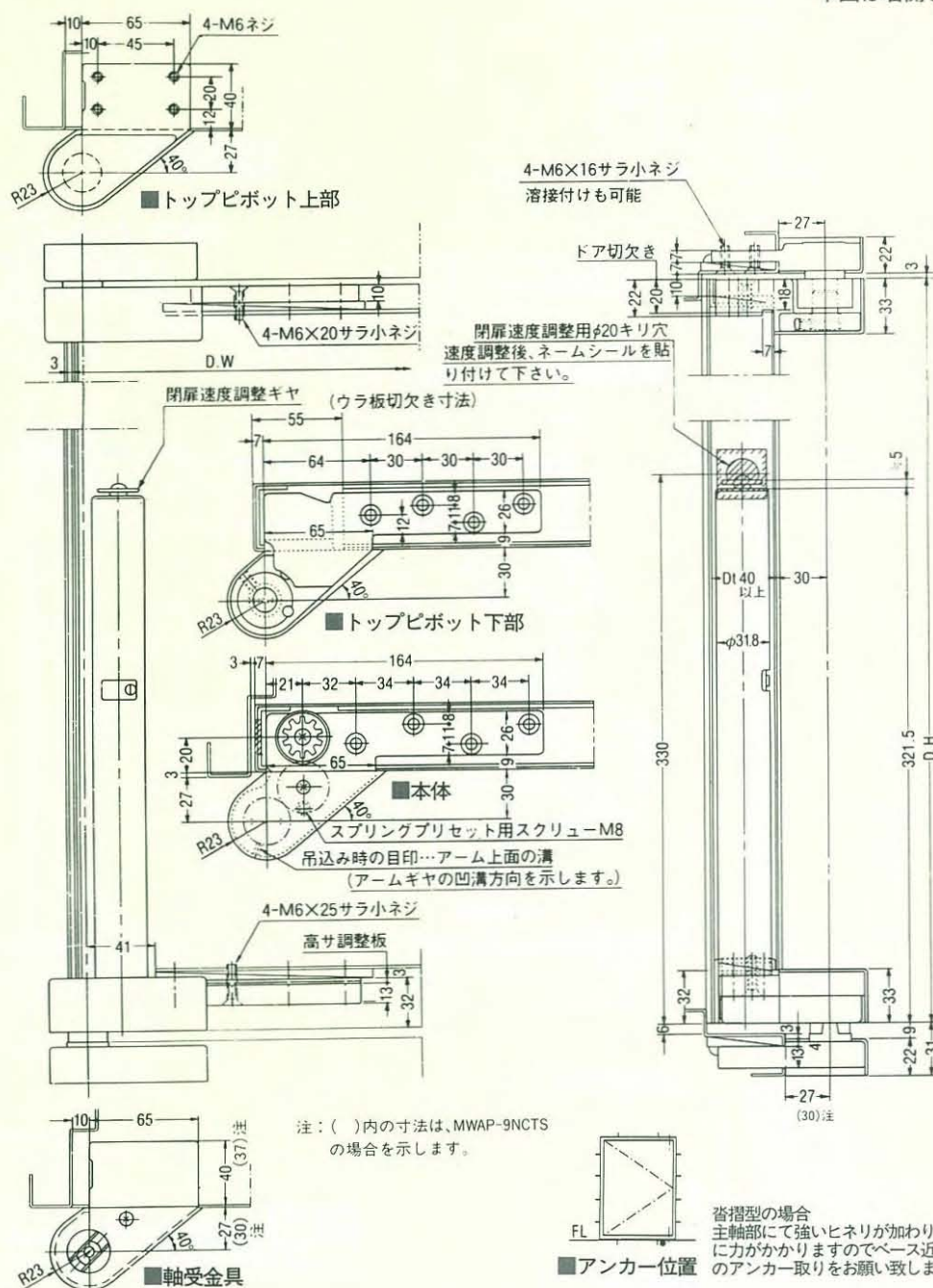
型 式	適用ドア寸法	適用ドア重量	開扉角度	ストップ装置
MWAP-9NCS MWAP-9NCTS	扉幅=900mm 扉高=2,100mm 扉厚=40mm以上	70kg以下	180° (一方開き)	付

左開き(L) 右開き(R)



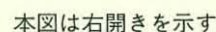
MWAP-9NCS/
MWAP-9NCTS

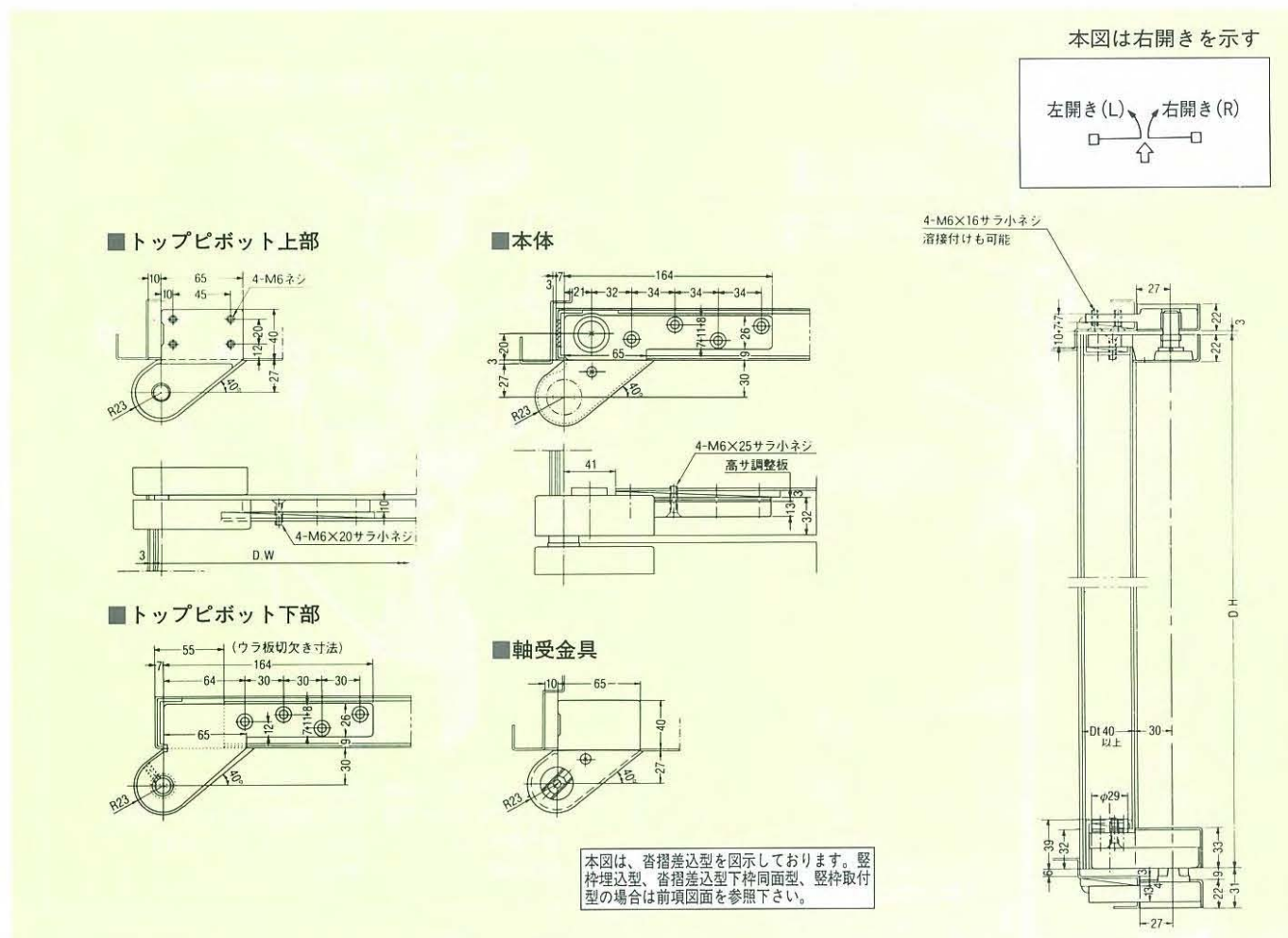
本図は右開きを示す



■持出吊/180°一方開

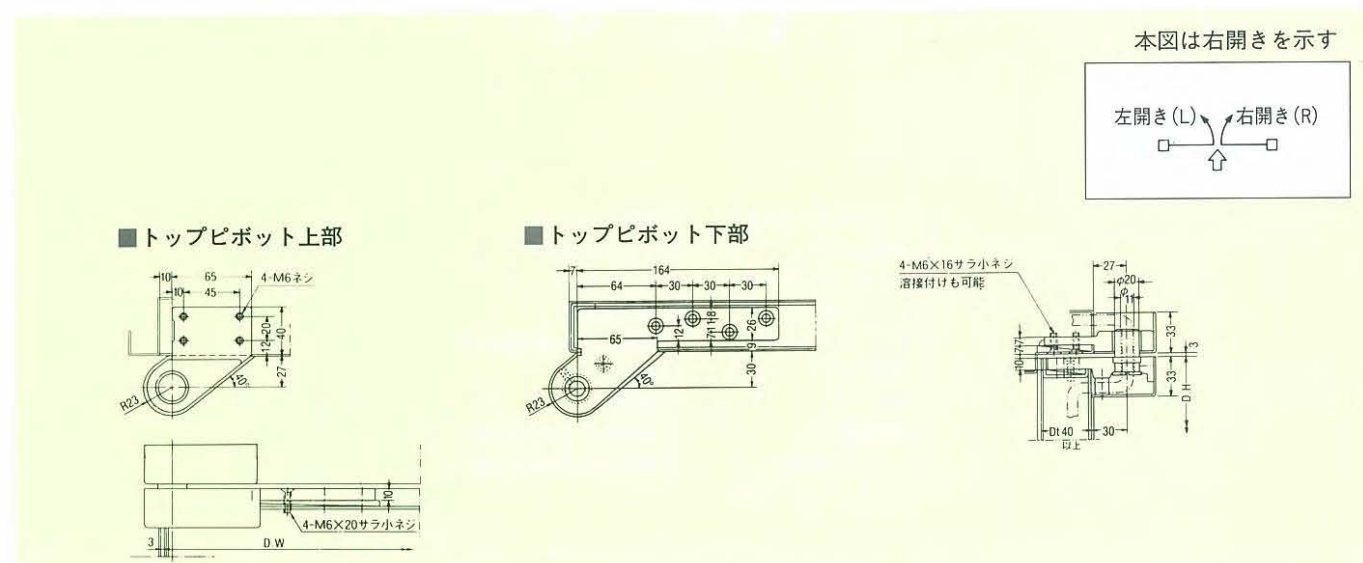
左開き (L) 右開き (R)





MES-5 通電用トップピボット上下部

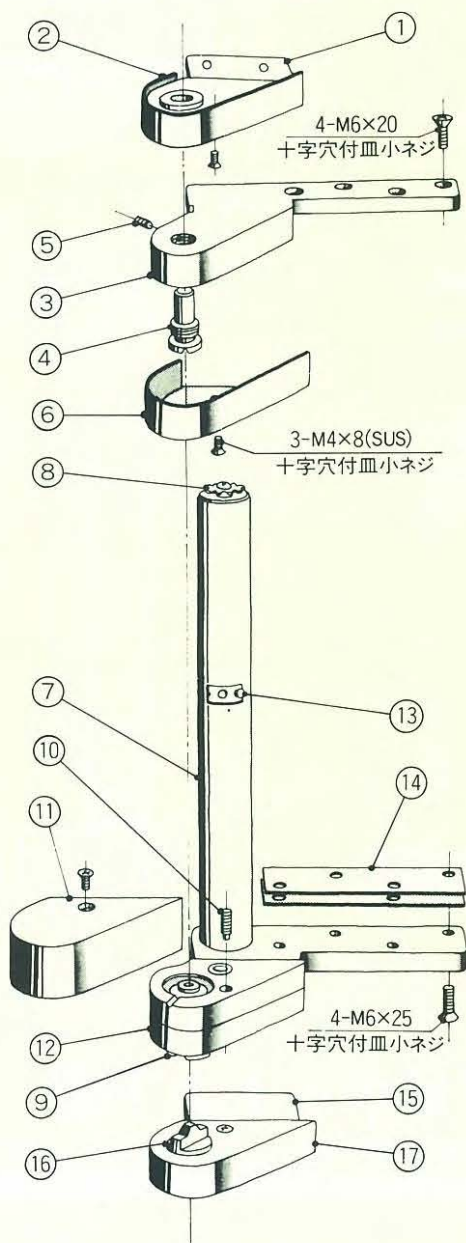
(ストップ付の上下部には通電用仕様は出来ません)



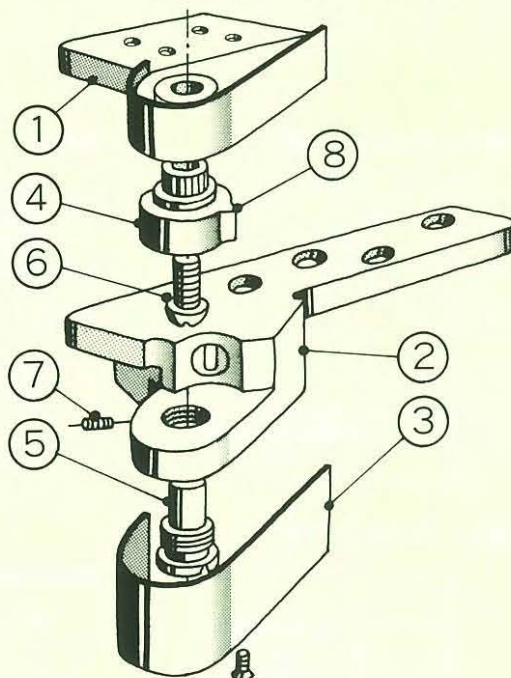
AUTO PIVOT MWAP-9N

■部品図(本図は右勝手を示します。)

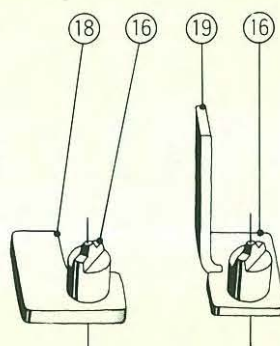
MWAP
-9N



ストップ装置の主要部品名



- ① トップピボット上部
- ② トップピボット下部
- ③ 下部カバー
- ④ カム軸
- ⑤ トップピボット
- ⑥ カム軸固定スクリュー (M8)
- ⑦ セットスクリュー (M6)
- ⑧ カム



- ① トップピボット上部
- ② 上部カバー
- ③ トップピボット下部
- ④ トップピボット
- ⑤ セットスクリュー
- ⑥ 下部カバー
- ⑦ 本体
- ⑧ 速度調整ギヤ
- ⑨ アームギヤ凹部
- ⑩ プリセットスクリュー
- ⑪ 本体カバー
- ⑫ アンダーカバー
- ⑬ セットピン
- ⑭ 高さ調整板
- ⑮ 軸受け金具 (省摺取付型)
- ⑯ 軸
- ⑰ 軸座カバー
- ⑱ 軸受け金具 (縦枠埋込型)
- ⑲ 軸受け金具 (縦枠取付型)

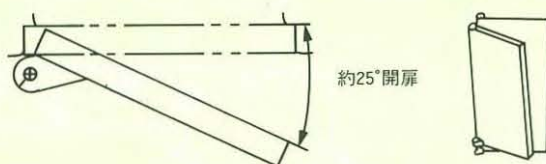
ドア吊り込み手順

- 1** 準備工具は、六角棒スパナ(二辺幅4mm)と、
+、-ドライバーをご用意ください。

- 2** カバー⑥⑪を取り外します。

- 3** セットスクリュー⑤を緩め、トップピボット
④を取り外します。

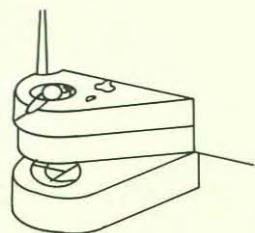
- 4** ドアを斜めに立てて、約25°開いた状態にしま
す。



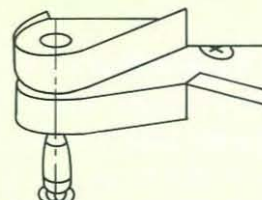
- 5** 軸の凸部⑬と、アームギア凹部⑨がかみ合う
よう、軸受金具⑮⑮⑮に本体⑦を差し込んで
ください。(軸の凸部方向は、本体上面の溝で
指示しています)

(注)ドアの取り外しは、吊り込み手順の逆の順序で行ってくだ
さい。

(注)組合わせ後は、プリセットスクリュー⑩を緩めるまで、ドア
の開閉は絶対しないでください。



- 6** ドアを垂直状態に保って、トップピボット上
下部①③の軸心を合わせ、トップピボット④
をねじ込んでください。



- 7** プリセットスクリュー⑩を本体上面まで緩め
ます。この時、ドアの開扉方向に力を加えな
がら行ってください。

- 8** ドアを約90°開き、セットスクリュー⑤を完全
に締め込んでください。

- 9** カバー⑥⑪を取り付けてください。

- 10** 閉扉スピードをチェックし、調整の必要時に
は速度調整ギア⑧で、減速位置を調整してく
ださい。



取付順序

1 準備工具

- + ドライバー (小・中)
- ドライバー (大・中)

2 ドア吊り込み手順 (図1、図2)

(ドア下側の吊り込み方法は、前頁のドア吊り込み手順をご参照ください。)

1. 吊り込み前に次の部品の分解を実施してください。
③カバーの取り外し後、⑦セットスクリューを緩めます。
2. ⑤トップピボットを取り外します。
3. ドア下側の吊り込み準備完了後、扉を立てて吊り込みます。
4. トップピボット上、下部の軸心を合わせて⑤トップピボットを取り付けてください。
5. 本体(アーム部)のプリセットスクリューを取り外し、約90°ドアを開扉します。
6. ②トップピボット下部についている⑦セットスクリューを完全に締めてください。
7. ③下部カバー、本体カバーを取り付けて完了です。

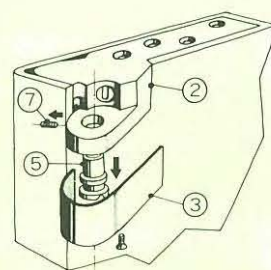


図 1

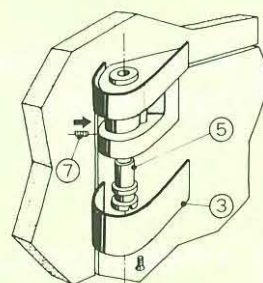


図 2

(注) トップピボット下部のキャップには触れないでください。

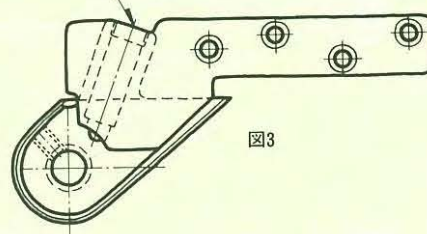


図3

3 ストップ角度の調整方法 (図4) (ストップ角度は約90°で出荷しています。)

1. トップピボット上部の⑥カム軸固定スクリューM8を外します。
2. ④カム軸を①より引き抜きます。このとき、カム軸のカム位置は、①のカバーに▽マーク(90°)で示してあります。
3. ④カム軸は▽マークを基準にして、希望ストップ角度位置に回して取り付けてください。(図5)

カム軸のセレーション部(刻み目)は1山約8°です。	
ストップ 角度	90°以上を設定の場合 (イ) 矢印方向へ回転
	90°以下を設定の場合 (ロ) 矢印方向へ回転

4. ⑥スクリューを完全に締めます。…調整は終了です。前頁のドア吊込み手順にもとづいて吊り込みを実施してください。

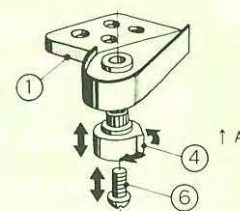


図4 本図は右勝手

4 ストップ無しにする方法 (図6)

1. 角度調整と同じ作業ですが、ストップ無しの場合、カム位置を(ハ)の位置にセットしてください。

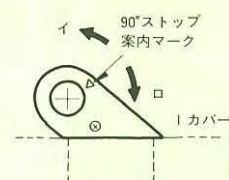


図 5 A 矢視図

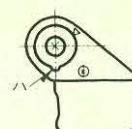


図 6

5 注意事項

3. 4項の作業はドア吊り込み前の作業ですので、吊り込み後、角度調整の必要な場合はドアを取り外して行ってください。また、その時、本体のプリセットスクリューはセットしてください。

異常時の原因と対策

こんなとき	ここを見てください
ドアが閉じきらない	・ ドアと枠が当たっていませんか。 ・ 風が強くありませんか。 ・ アームギアと軸の凹凸が確実に入っていますか。 ・ 軸受金具が水平に取り付けられていますか。 ・ 軸の凸部の方向が違っていませんか。 ・ スプリングの巻き込みをさわっていませんか。
ドアの閉じスピードが速い(遅い)	・ 速度調整ギアで、最適なスピードに調整してください。
ドアが開いていく	・ 風が強くありませんか。 ・ スプリングの巻き込みをさわっていませんか。 ・ (スプリングの巻き込み不足) (スプリングの逆巻き)
ドアの吊り込みができない	・ 上枠とドアのチリが少ない場合。 高さ調整板を取り外してください。

異常時の
原因と
対策

■取扱上の注意

- ・ 精密加工品ですから、落したり、強く叩いたりしないでください。
- ・ 本体に、水や雨などをかけないようにしてください。
- ・ トップピボット下部および本体は、溶接付けできません。
- ・ オートピボットの閉扉速度より速く手で押さないでください。
- ・ 最大開扉角度以上、ドアを開かないでください。
- ・ アームギアの凹部、軸の2面巾凸部を削ったり、衝撃荷重をかけないでください。
また、モルタル等の異物を付着させないでください。
- ・ プリセットスクリューが締まった状態で、ドアの開閉は絶対にしないでください。
- ・ ドア吊り込み完了まで、プリセットスクリューは緩めないでください。
- ・ アンダーカバーを取り外したり、取り付けビスを緩めないでください。
- ・ 軸受金具は強固に固定し、また、水平に取り付けてください。
- ・ 注意書きのシール部には塗装しないようご注意ください。
- ・ スプリングは工場で巻き込み済みです。セットピンにはさわらないでください。